

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公表番号】特表 2020-530335 (P2020-530335A)  
【公表日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-043  
【出願番号】特願 2020-506913 (P2020-506913)  
【国際特許分類】

A 6 1 N 1/04 (2006.01)

A 6 1 N 1/36 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/04

A 6 1 N 1/36

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 2 日 (2021.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

神経の長さに沿った第 1 方向において、カフ本体上に軸方向に延びる第 1 電極の第 1 配列と、

前記第 1 方向と垂直な第 2 方向において、前記カフ本体上に円周方向に離間して延びる第 2 電極の第 2 配列と、

を含み、

前記第 2 電極の少なくともいくつかを選択的に活性化することにより、少なくとも第 1 神経枝を選択的に刺激する、

装置。

【請求項 2】

前記第 1 配列の前記第 1 電極は、前記第 2 方向に沿って軸方向に配置され、前記第 2 配列それぞれの両端に配置された少なくとも 2 つの外側電極を含み、

前記第 1 配列のそれぞれの外側電極は、前記第 2 配列から離間している、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの前記第 2 電極はカソードを含み、前記第 1 配列の前記外側電極のそれぞれはアノードを含み、ガードカソード構成を提供する、

請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 2 配列の少なくとも 1 つの前記第 2 電極は、少なくともいくつかの前記第 1 電極の選択的活性化と組み合わせ、選択的に活性化される、

請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

少なくとも 2 つの前記第 2 電極は、少なくとも前記第 1 神経枝を選択的に刺激するために選択的に活性化される、

請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記第 2 電極の少なくともいくつかは、少なくとも前記第 1 神経枝を選択的に刺激するために、前記第 1 電極を活性化することなく、選択的に活性化される、  
請求項 2 に記載の装置。

【請求項 7】

前記第 1 電極は、内側電極と、前記内側電極の両端に配置される 2 つの外側電極を含む、  
請求項 2 に記載の装置。

【請求項 8】

前記第 1 電極の 1 つは、前記第 2 電極の 1 つとして選択的に機能し、任意に、前記第 1 電極は等間隔に離間している、  
請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記カフ本体は、内側軸部分と、前記内側軸部分の両端に配置された 2 つの外側軸部分と、を含み、  
前記内側軸部分と外側軸部分とのそれぞれは、内側円周部分と、前記内側円周部分の両端に配置された 2 つの外側円周部分と、を含む、  
請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記外側円周部分は、第 1 神経を取り囲む再閉可能な内腔を画定するよう互いに対して解放可能に係合するよう成形および付勢され、  
任意に、前記カフ本体により画定される前記再閉可能な内腔は、前記カフ本体の全長に延びる、少なくとも 360 度の円周構造を形成する、  
請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記第 1 電極のそれぞれ 1 つは、前記内側軸部分および前記外側軸部分のそれぞれに配置され、前記カフ本体のそれぞれの前記外側軸部分の前記外側円周部分は、電極を含まない、  
請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記第 2 電極は、前記カフ本体の前記内側軸部分のそれぞれの前記外側円周部分の少なくとも 1 つに配置される、  
請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

前記第 2 電極は、前記内側軸部分のそれぞれの前記外側円周部分の一方に配置される前記第 2 配列の 2 つの第 2 電極を含む、  
請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

それぞれの前記外側円周部分の他方は、電極を含まず、前記内側軸部分の前記外側円周部分にある 1 つの前記第 2 電極と、前記カフ本体のそれぞれの前記外側軸部分にある外側第 1 電極との間に刺激信号ベクトルを画定する、  
請求項 13 に記載の装置。

【請求項 15】

前記第 2 配列の前記第 2 電極は、前記内側軸部分の 1 つの前記外側円周部分に少なくとも 3 つの第 2 電極を含む、  
請求項 12 に記載の装置。

【請求項 16】

1 つの前記外側円周部分は、前記第 2 電極を収容し、前記カフ本体により画定される前記内腔の内部に前記第 2 電極の一部を露出する、少なくとも 1 つの厚さの増加した部分を含む、  
請求項 15 に記載の装置。

**【請求項 17】**

前記第2電極は、前記第2方向において、前記カフ本体の接触面の周りで円周方向に等間隔に離間している、

請求項16に記載の装置。

**【請求項 18】**

前記神経に向かって内側に向いた少なくとも1つの厚さの増加した部分、および、前記神経から外側に向いた少なくとも1つの厚さの増加した部分、のうち少なくとも1つを含む、

請求項17に記載の装置。

**【請求項 19】**

前記第2配列の2つの選択可能な第2電極は、第2神経枝を刺激から略除外しつつ、少なくとも前記第1神経枝を選択的に刺激する、

請求項1に記載の装置。

**【請求項 20】**

前記第2配列は、2つの前記選択可能な第2電極に加えて、第3の選択可能な第2電極を含み、

前記第3の選択可能な第2電極は、

前記第2配列の前記第3の選択可能な第2電極を活性化しないこと、および、

前記第2神経枝を選択的に少なくとも部分的に過分極するように前記第2配列の前記第3の選択可能な第2電極を活性化すること、

のうち少なくとも一方により、刺激から前記第2神経枝を除外する、

請求項19に記載の装置。

**【請求項 21】**

前記第2配列の第1の前記第2電極は、前記第1神経枝を選択的に刺激し、それぞれの第2の前記第2電極は、前記第1の前記第2電極に隣接し、第3神経枝を個別に選択的に刺激する、

請求項19に記載の装置。

**【請求項 22】**

前記第1配列は、少なくとも3つの前記第1電極を含み、

前記少なくとも3つの第1電極は、前記第1方向に沿って軸方向に配置された少なくとも2つの外側電極と、前記少なくとも2つの外側電極の間で軸方向に配置された内側電極と、を含み、

前記第1配列の前記内側電極は、前記第2配列の前記第2電極のうち1つもまた画定する、

請求項21に記載の装置。